

英国経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (UK)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先：ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp)

概況	物価・消費者心理
<p>英国経済は、内需を牽引役に堅調な景気回復が続いている。2014年4-6月期の実質GDP成長率は、6四半期連続のプラスとなり、伸び率も前期比+0.8%と、高成長が持続した。イングランド銀行(BOE、中央銀行)のカーニー総裁は8月13日、最新のインフレ報告書発表の席で、景気回復の勢いはより確かなものになりつつあり、就業者数や労働時間の大幅な増加や労働参加率の上昇などから、英経済の余剰生産能力(スラック)は予想以上に速いペースで縮小(前回5月:対GDP比1.0~1.5%→今回:同1.0%前後)していると述べた。ただし、賃金の伸びが依然として低いことに加え、家計と企業におけるバランスシート調整の継続や、ウクライナ情勢など地政学的リスクの高まり、主要輸出先であるユーロ圏経済の弱さなどの逆風もあると指摘し、利上げペースは小幅で限定的なものにとどまるとの考えを改めて強調した。一方、8月6~7日に開催されたBOEの金融政策委員会では政策金利の据え置きが決定されたが、8月20日に公表された議事録では、9委員中2名が、失業率の改善と賃金上昇にはある程度のタイムラグがあるため、賃金が上昇し始める前に利上げに動くべきと主張し、0.25%の利上げを支持したことが明らかとなった。</p>  <p>(前期比, %) 実質GDP成長率</p> <p>(資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年)</p>	<p>7月の小売売上は前月比+0.1%と、小幅ながらも前月水準を上回った。一方、7月の消費者信頼感指数は前月から2.6ポイント低下したが、長期平均を上回る水準は維持した。賃金上昇率が低迷するなか、6月にインフレ率が上昇したことや、英中銀による利上げ観測が強まっていること等で家計の楽観的な見通しが後退したことなどが影響したとみられる。</p>
<p>6月の鉱工業生産は前月比+0.3%と、マイナスの伸びとなった前月からプラスに転じた。品目別にみると、輸送機器が同+5.5%と大きく伸び、全体の伸びを押し上げた。製造業の購買担当者指数(PMI)は海外需要に鈍化がみられるものの、堅調な内需に支えられて拡大基調が続いており、生産は今後も底堅い推移が予想される。</p>	<p>6月の失業率(ILOベース)は6.4%となった。就業者数については増加ペースが鈍化しつつも、4~6月期は前期(1~3月)から16.7万人増の3059万人となった。一方、6月の名目賃金上昇率(3ヵ月移動平均)は、前年比▲0.2%と5年ぶりにマイナスの伸びとなり、賃金の伸び悩みが続いた。7月の消費者物価指数は、6月の前年比+1.9%から同+1.6%に減速した。前月から後倒しされていた夏物衣料品セールが、前年を上回る値下げ幅で開始されたことなどが下押しした。</p>  <p>(前年比, %) 消費者物価、賃金</p> <p>— 賃金上昇率(3ヵ月移動平均) — インフレ率</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p>生産</p>	<p>住宅市場</p> <p>住宅需要については、住宅ローン貸出の審査基準に係る規制強化等を背景に加速が一服しつつあり、住宅ローン承認件数や販売件数の減少、先行指標である新規問い合わせ件数の減少等がみられる。また住宅価格も、ハリファックス社の価格指数では7月に掛けて前月比の伸び率が鈍化傾向となった。一方、供給面では、民間住宅の受注件数が金融危機前の水準近くまで回復したほか、住宅建設指数も過去最高圏での推移が続いており、需給ギャップに改善の兆しが出てきている。</p>
<p>金利・為替相場</p>	
<p>政策金利：イングランド銀行(BOE、中央銀行)は8月の金融政策委員会(MPC)で、政策金利の0.50%での据え置きと資産買取規模(3,750億ポンド)の維持を決定した。9委員中2名が、利上げを主張した一方、その他の委員は、賃金の上昇を待たずに利上げを行えば、多額の債務を抱える家計の脆弱性を高めるなどとして、据え置きを支持した。</p> <p>市場金利(7月~)：7月の長期金利(10年物国債利回り)は2.82%で始まった。7月中はポルトガル民間銀行の経営問題でユーロ圏の脆弱性が再認識されたことや、ウクライナやイスラエル情勢の緊迫化など地政学的リスクの高まりで、安全資産とされる英国債の需要が高まり、利回りは低下傾向を続けた。8月に入ってからも、英中銀による賃金見通しの下方修正等を受けて市場における早期の利上げ観測が後退したこと等を背景に利回りは更に低下し、8月15日には昨年7月以来となる2.47%まで低下した。</p> <p>為替相場(7月~)：ポンドの対ドル相場は7月に1ポンド=1.71ドルで始まった。ポンドは6月末までの上昇傾向から一転、米第2四半期GDPの加速を受けたドル買いに加え、BOEがインフレ報告書で利上げに慎重な姿勢を示したことや、7月のインフレ率が予想以上に低かったこと等を背景に下落し、足元は4ヵ月ぶりの水準となる1.66ドル近辺まで下落している。</p>	
 <p>(%) 金利動向 (%)</p> <p>10年物国債利回り(右軸) 3ヵ月物ユーロポンド金利 レボ金利</p> <p>13/12 14/01 14/02 14/03 14/04 14/05 14/06 14/07 14/08</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年/月)</p>	 <p>(USD/GBP) 為替相場 (GBP/EUR)</p> <p>— ポンドドル — ユーロ/ポンド(右軸)</p> <p>13/12 14/01 14/02 14/03 14/04 14/05 14/06 14/07 14/08</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年/月)</p>

1. 年、四半期

	11	12	13	2013/Q2	Q3	Q4	2014/Q1	Q2			
実質GDP成長率*	1.1	0.3	1.7	0.7 1.8	0.8 1.8	0.7 2.7	0.8 3.0	0.8 3.2			
実質企業投資 (前期比、%) (前年比、%)	▲ 1.3	3.9	▲ 1.2	0.8 ▲ 3.6	3.0 ▲ 1.2	1.5 8.3	5.0 10.6	- -			
鉱工業生産*	▲ 1.2	▲ 2.4	▲ 0.4	0.6 ▲ 0.9	0.7 ▲ 0.4	0.4 2.2	0.7 2.4	0.3 2.1			
	製造業	1.8	▲ 6.7	▲ 2.1	0.5 ▲ 1.1	0.9 ▲ 0.7	0.6 1.7	1.5 3.6	0.2 3.3		
信頼感指数*	▲ 1.8	▲ 6.7	▲ 2.1	▲ 8.9	1.8	7.5	4.4	9.3			
	▲ 21.4	▲ 20.1	▲ 10.1	▲ 16.7	▲ 3.8	▲ 2.8	2.1	6.9			
小売売上数量*	0.3	1.0	1.7	1.0 1.4	1.3 2.0	0.9 3.4	0.6 3.7	1.4 4.2			
失業者数 (失業保険へ ⁺ 入)* (千人) (前期比、%)	1,534.4 2.5	1,585.5 3.3	1,421.3 ▲ 10.4	1,489.0 ▲ 3.1	1,388.2 ▲ 6.8	1,270.5 ▲ 8.5	1,173.3 ▲ 7.6	1,078.4 ▲ 8.1			
失業率*	失業保険基準(%)			4.7	4.8	4.2	4.5	4.1	3.7	3.7	3.2
	ILO基準(%)			8.1	7.9	7.6	7.8	7.6	7.2	6.8	6.4
平均賃金収入*	(前年比、%)			2.5	1.4	1.2	2.3	0.8	1.2	1.9	▲ 0.2
生産者価格	工業品産出価格			4.7	2.1	1.3	0.3 1.3	0.4 1.5	▲ 0.4 0.9	0.3 0.6	0.1 0.4
	原燃料投入価格			14.5	2.8	2.6	▲ 1.9 1.5	▲ 0.2 2.5	▲ 1.7 ▲ 0.6	▲ 1.3 ▲ 5.0	▲ 1.5 ▲ 4.6
小売物価	消費者物価(CPI)			4.5	3.2	3.1	0.7 2.7	0.3 2.7	0.6 2.1	0.1 1.7	0.7 1.7
	総合指数(RPI)			5.2	3.2	3.0	1.0 3.1	0.5 3.2	0.6 2.6	0.6 2.6	0.8 2.5
	住宅ローン金利を除く(RPIX)			5.3	3.2	3.1	0.9 3.1	0.5 3.2	0.7 2.7	0.6 2.7	0.9 2.6
住宅価格	(HBOS, Halifax index)			▲ 2.5	▲ 0.6	4.6	2.2 3.7	2.0 6.2	2.0 7.5	2.3 8.7	2.3 8.8
輸出金額	世界計 (百万ポンド) (前年比、%)			298,421 12.5	300,457 0.7	304,756 1.4	78,632 6.5	75,149 ▲ 0.4	74,615 ▲ 0.1	71,790 ▲ 6.0	71,308 ▲ 9.3
	対EU28カ国 (百万ポンド) (前年比、%)			158,764 11.9	151,062 ▲ 4.9	153,549 1.6	38,817 4.7	38,981 4.2	36,961 ▲ 2.5	35,670 ▲ 8.0	36,221 ▲ 6.7
輸入金額	世界計 (百万ポンド) (前年比、%)			398,513 9.5	409,157 2.7	412,646 0.9	104,066 2.1	104,797 2.8	101,381 ▲ 1.3	98,273 ▲ 4.0	98,697 ▲ 5.2
	対EU28カ国 (百万ポンド) (前年比、%)			201,988 8.6	208,184 3.1	218,240 4.8	53,778 4.6	55,422 6.9	54,910 3.8	51,951 ▲ 4.0	51,816 ▲ 3.6
貿易収支	世界計 (百万ポンド)			▲ 100,092	▲ 108,700	▲ 107,890	▲ 25,434	▲ 29,648	▲ 26,766	▲ 26,483	▲ 27,389
	対EU28カ国 (百万ポンド)			▲ 43,224	▲ 57,122	▲ 64,691	▲ 14,961	▲ 16,441	▲ 17,949	▲ 16,281	▲ 15,595
経常収支*	(百万ポンド)			▲ 22,475	▲ 59,657	▲ 72,761	▲ 7,729	▲ 23,919	▲ 23,519	▲ 18,495	-
通貨供給量*	M4: (前年比、%)			▲ 2.5	▲ 1.0	0.3	1.6	2.6	0.3	▲ 0.2	▲ 0.6
公共部門所要借入額 (PSNCR)	(百万ポンド)			6,861	16,609	15,920	▲ 1,425	6,201	15,920	15,752	11,927
外貨準備(金を除く)	(10億米ドル)			79.3	88.6	92.4	90.2	93.3	92.4	97.3	99.4
政策金利(レポ金利)	(%)			0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ユーロ・ポンド金利(3ヵ月物)	(%)			0.88	0.83	0.51	0.51	0.51	0.52	0.52	0.53
国債利回り(10年物)	(%)			3.03	1.88	2.36	1.91	2.72	2.78	2.78	2.70
ポンド/米ドル為替相場	0.624	0.631	0.640	0.651	0.645	0.618	0.604	0.594			
ユーロ/ポンド為替相場	0.868	0.811	0.849	0.850	0.855	0.841	0.828	0.815			
円/ポンド為替相場	127.75	126.46	152.58	151.60	153.28	162.62	170.13	171.85			
ポンド実効相場**	79.93	82.95	81.41	80.48	81.18	83.55	85.61	86.92			

(注)特記なき限り上段は前期比、下段は前年比。外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレポ金利が期末値、
 その他が期中平均値。*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。
 信頼感指数については、欧州委員会発表。** 2005年=100

2. 月次

		2013/12	2014/01	2	3	4	5	6	7
実質GDP成長率*		データは四半期のみ							
		0.3	▲ 0.2	0.9	0.1	0.3	▲ 0.6	0.3	-
鉱工業生産*		1.7	2.3	2.5	2.5	2.9	2.3	1.2	-
	製造業	0.5	0.3	1.1	0.5	0.3	▲ 1.3	0.3	-
信頼感指数*	製造業	1.4	3.2	4.0	3.5	4.3	3.7	1.9	-
	消費者	8.8	5.9	6.0	1.3	8.0	8.0	11.9	7.4
		▲ 3.3	1.0	2.0	3.3	5.7	7.6	7.4	4.8
小売売上数量*		3.0	▲ 2.5	1.5	0.6	1.0	▲ 0.7	0.2	0.1
		5.9	3.6	3.1	4.5	6.2	3.5	3.4	2.6
失業者数 (千人)		1,206.5	1,171.7	1,141.8	1,113.4	1,080.6	1,041.1	1,007.5	-
(失業保険べ-入)									
(前年比、%)		▲ 2.6	▲ 2.9	▲ 2.6	▲ 2.5	▲ 2.9	▲ 3.7	▲ 3.2	-
失業率*	(失業保険基準、%)	3.6	3.5	3.4	3.3	3.2	3.1	3.0	-
	(ILO基準、%)	7.2	7.2	6.9	6.8	6.6	6.5	6.4	-
平均賃金収入*									
(前年比、%)		1.7	1.6	1.8	2.2	▲ 1.5	0.5	0.4	-
(3ヶ月平均 前年同期比、%)		1.2	1.4	1.7	1.9	0.8	0.4	▲ 0.2	-
生産者価格	工業品産出価格	0.0	0.3	0.1	0.1	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1
		1.0	0.9	0.6	0.4	0.6	0.5	0.3	▲ 0.1
原燃料投入価格		0.3	▲ 0.9	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.9	0.2	▲ 0.9	▲ 1.6
		▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 5.8	▲ 6.3	▲ 5.3	▲ 3.9	▲ 4.5	▲ 7.3
物価	消費者物価(CPI)	0.4	▲ 0.6	0.5	0.2	0.4	▲ 0.1	0.2	▲ 0.3
		2.0	1.9	1.7	1.6	1.8	1.5	1.9	1.6
	総合指数(RPI)	0.5	▲ 0.3	0.6	0.2	0.4	0.1	0.2	▲ 0.1
		2.7	2.8	2.7	2.5	2.5	2.4	2.6	2.5
住宅ローン金利を除く(RPIX)		0.5	▲ 0.4	0.7	0.3	0.4	0.1	0.2	▲ 0.1
		2.8	2.8	2.7	2.5	2.6	2.5	2.7	2.6
住宅価格		▲ 0.5	1.2	2.5	▲ 1.2	▲ 0.3	4.0	▲ 0.4	1.4
	(HBOS, Halifax index)	5.7	7.8	10.1	8.5	6.8	10.7	9.5	10.3
輸出金額	世界計 (百万ポンド)	25,181	23,869	23,443	24,478	23,921	23,887	23,500	-
	(前年比、%)	▲ 1.4	▲ 5.5	▲ 6.6	▲ 5.8	▲ 7.4	▲ 7.7	▲ 12.7	-
対EU28カ国 (百万ポンド)		12,588	11,940	11,492	12,238	12,200	12,013	12,008	-
(前年比、%)		1.3	▲ 6.5	▲ 12.1	▲ 5.4	▲ 3.7	▲ 8.8	▲ 7.5	-
輸入金額	世界計 (百万ポンド)	32,925	33,320	32,182	32,771	32,747	33,037	32,913	-
	(前年比、%)	▲ 4.4	0.8	▲ 5.6	▲ 7.1	▲ 4.6	▲ 4.6	▲ 6.3	-
対EU28カ国 (百万ポンド)		17,905	17,476	17,362	17,113	17,152	17,084	17,580	-
(前年比、%)		4.0	▲ 0.3	▲ 2.7	▲ 8.7	▲ 2.7	▲ 3.9	▲ 4.4	-
貿易収支	世界計 (百万ポンド)	▲ 7,744	▲ 9,451	▲ 8,739	▲ 8,293	▲ 8,826	▲ 9,150	▲ 9,413	-
	対EU28カ国 (百万ポンド)	▲ 5,317	▲ 5,536	▲ 5,870	▲ 4,875	▲ 4,952	▲ 5,071	▲ 5,572	-
経常収支* (百万ポンド)		データは四半期のみ							
通貨供給量* M4: (前年比、%)		0.3	0.1	1.1	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 0.6	-
公共部門所要借入額(PSNCR) (百万ポンド)		15,920.0	▲ 19,397.0	▲ 134	15,752	▲ 10,842	8,448	11,927	▲ 9,706.0
外貨準備(金を除く) (10億米ドル)		92.4	92.6	93.8	97.3	95.0	97.2	99.4	-
政策金利(レポ金利) (%)		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ユーロ・ポンド金利(3ヵ月物) (%)		0.52	0.52	0.52	0.52	0.53	0.53	0.54	0.56
国債利回り(10年物) (%)		2.92	2.86	2.74	2.72	2.67	2.63	2.82	2.75
ポンド/米ドル為替相場		0.611	0.607	0.604	0.602	0.597	0.594	0.592	0.586
ユーロ/ポンド為替相場		0.836	0.827	0.825	0.832	0.825	0.816	0.804	0.793
円/ポンド為替相場		169.53	171.06	169.09	170.11	171.62	171.42	172.53	173.69
ポンド実効相場**		84.44	85.46	85.79	85.59	86.22	86.88	87.71	88.76

(注) 特記なき限り上段は前月比、下段は前年比。

*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。信頼感指数については欧州委員会発表。

** 2005年=100 外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレポ金利が月末値、その他は期中平均値。

(資料) 英国政府統計局 他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。